

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (2月20日までのデータ分析：要点)

【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口：重点措置適用後、3週連続で減少していた夜間滞留人口（18-24時）は、4週目（前週）から急激に増加（前週比7.0%増）。特に直近1週間の18～20時、20～22時の夜間滞留人口の増加が顕著。ハイリスクな深夜帯（22～24時）の滞留人口は、2週続けての増加となり、今後の感染状況への影響が懸念される。
- 昼間滞留人口：前週から増加（前週比4.7%増）。ランチ時間帯から夕方にかけて午後の滞留人口が全般的に増加。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：若年層だけでなく中高年層の夜間滞留人口も前週から増加に転じる。

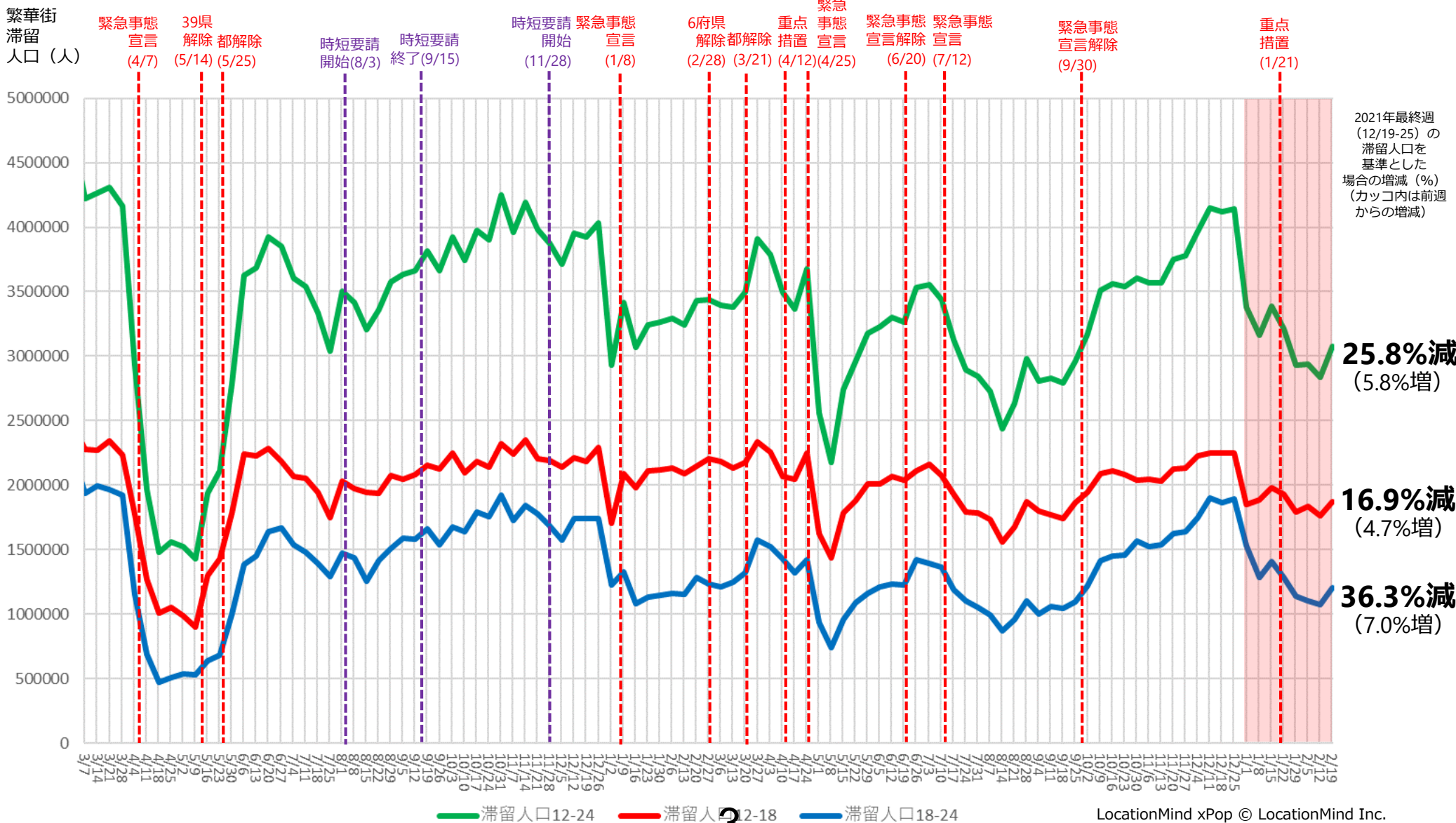
【ステイホーム指標】

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内のステイホーム率は、55.8 %（前週比：3.1%減）、47.1 %（前週比：3.4%減）。

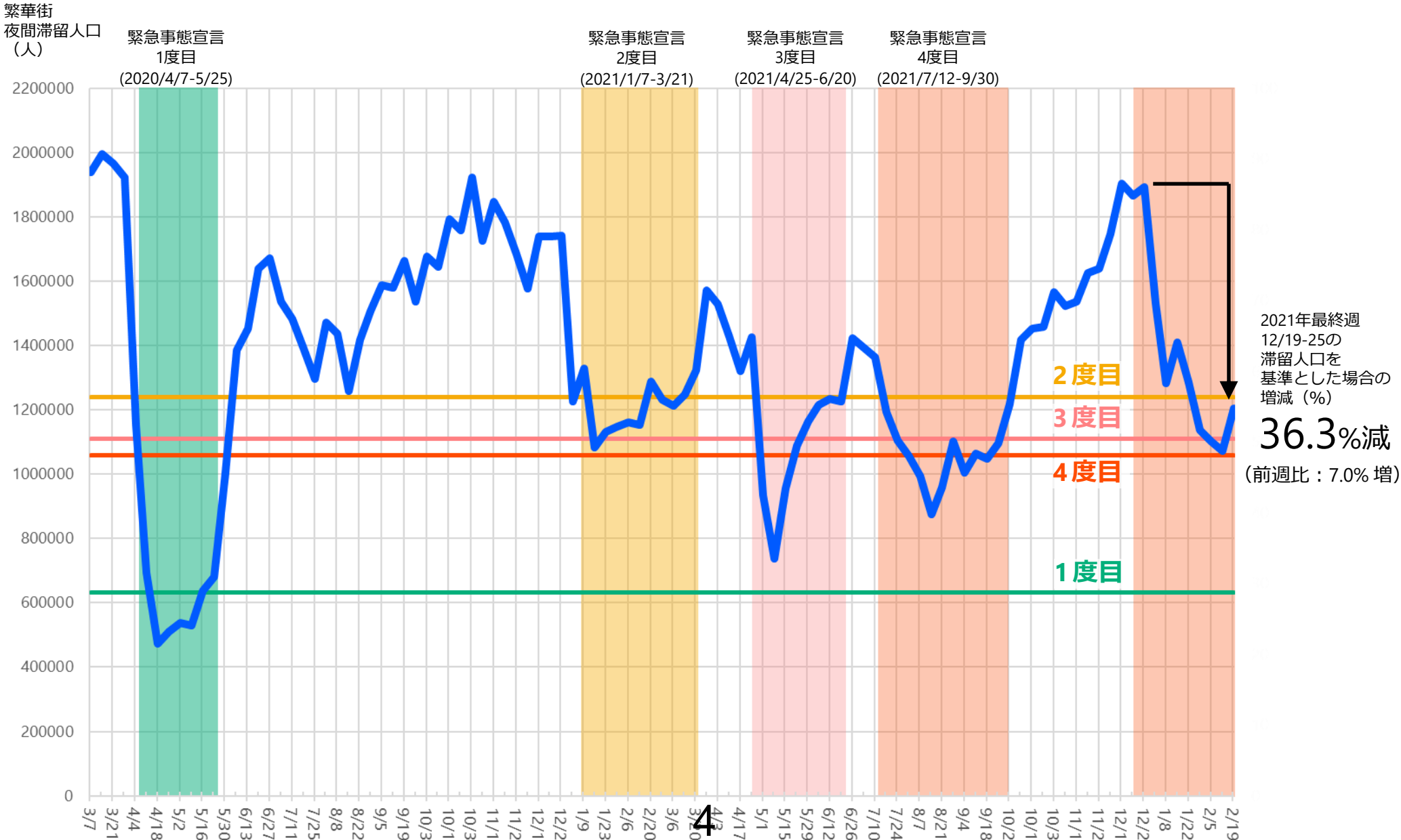
【大型ショッピングモール・フードコートの滞留人口】

- 都心部・23区東部・23区西部では引き続き減少。西多摩・南多摩は微増、北多摩は横ばい。繁華街夜間滞留人口のような急激な増加は、今のところみられていない。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2022年2月19日）



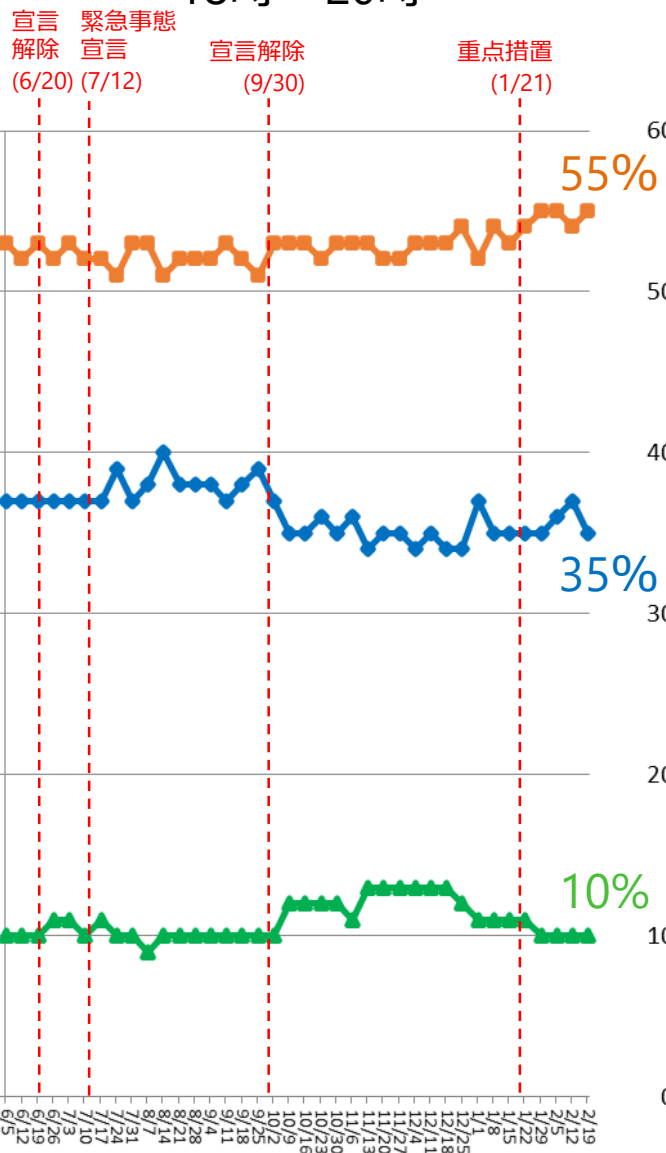
緊急事態宣言中の繁華街夜間滞留人口（18-24時）の平均水準 （2020年3月1日～2022年2月19日）



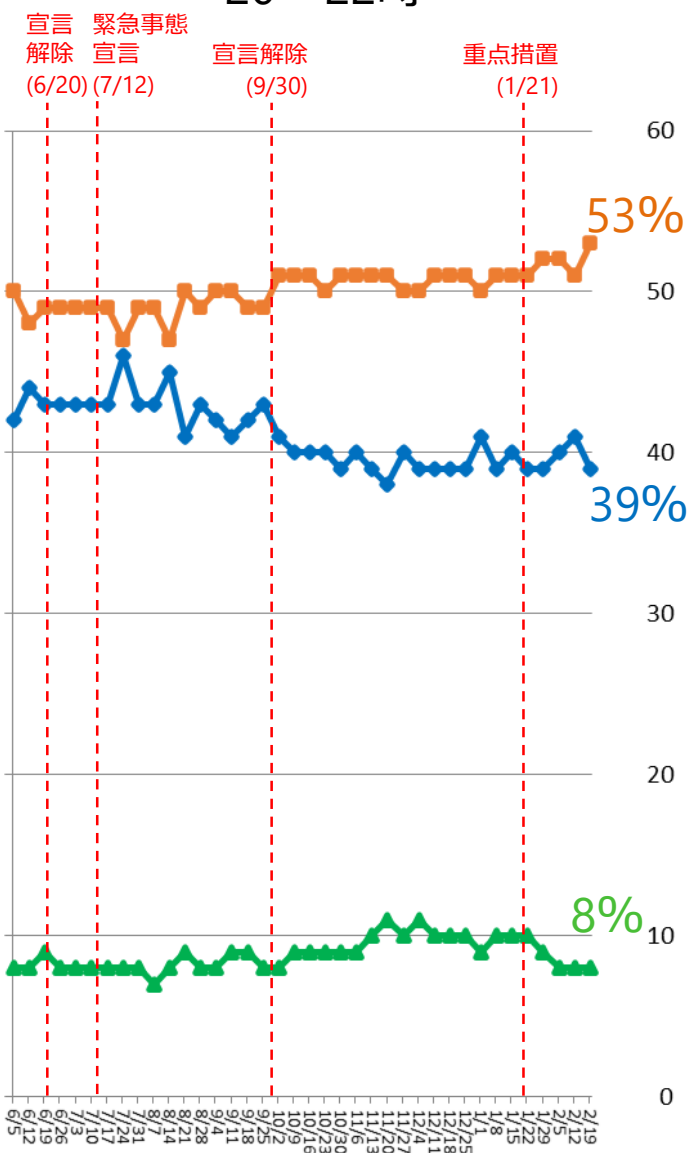
*対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木 滞留人口18-24時

都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～2022年2月19日）

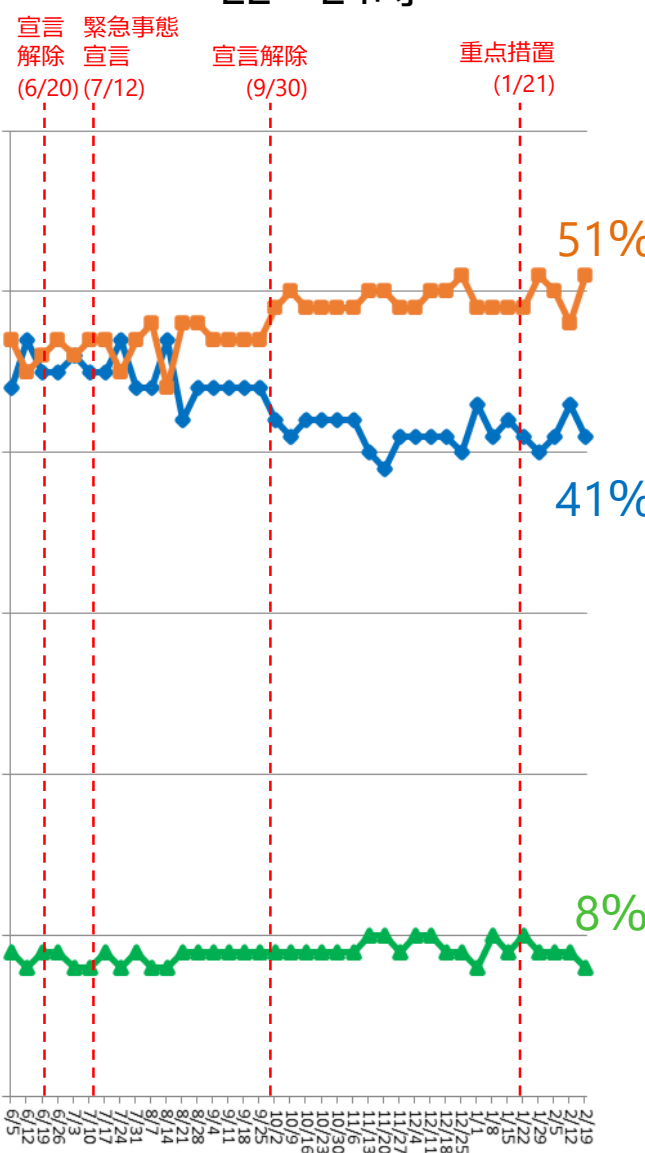
18時～20時



20～22時



22～24時

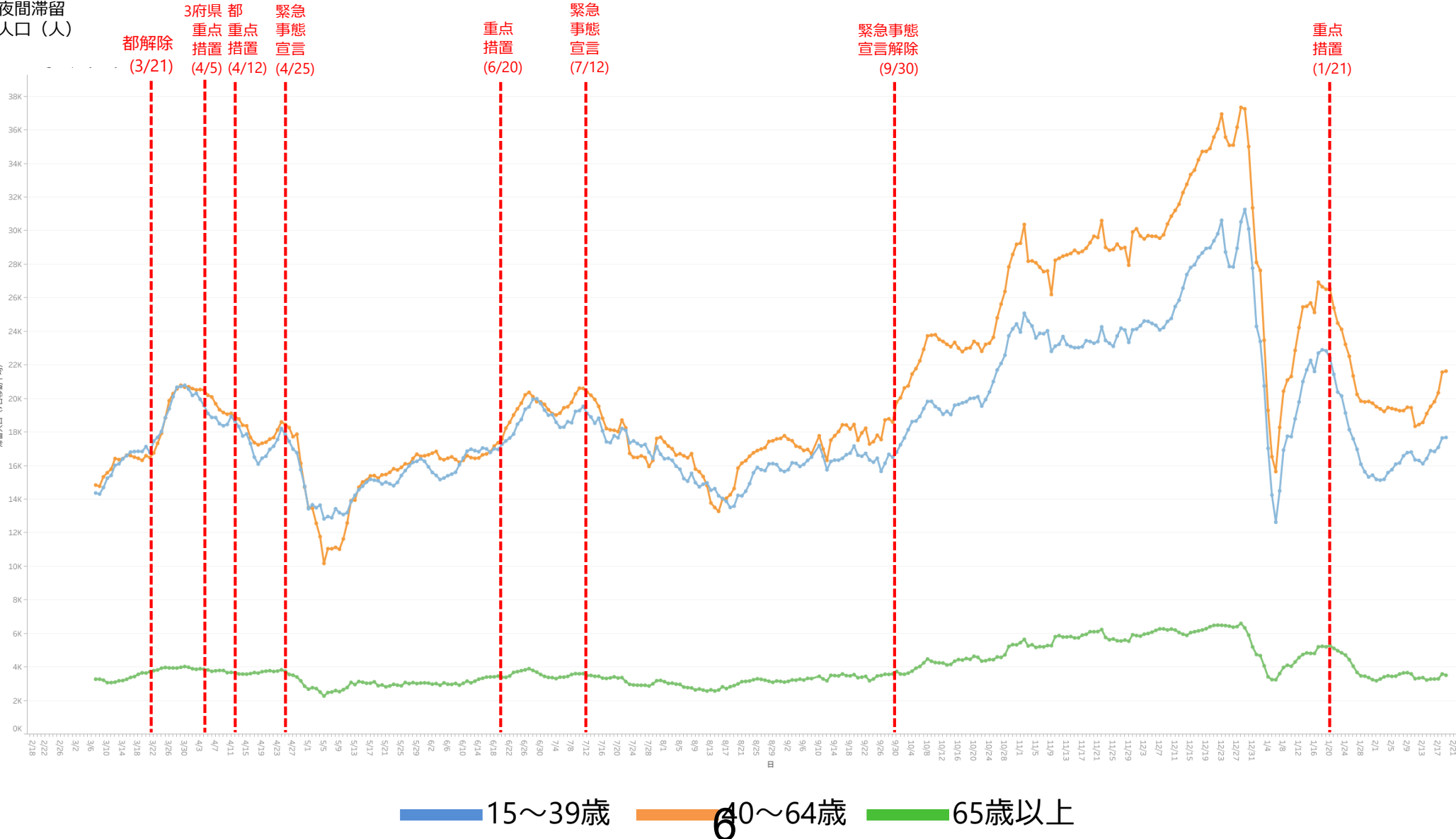


5

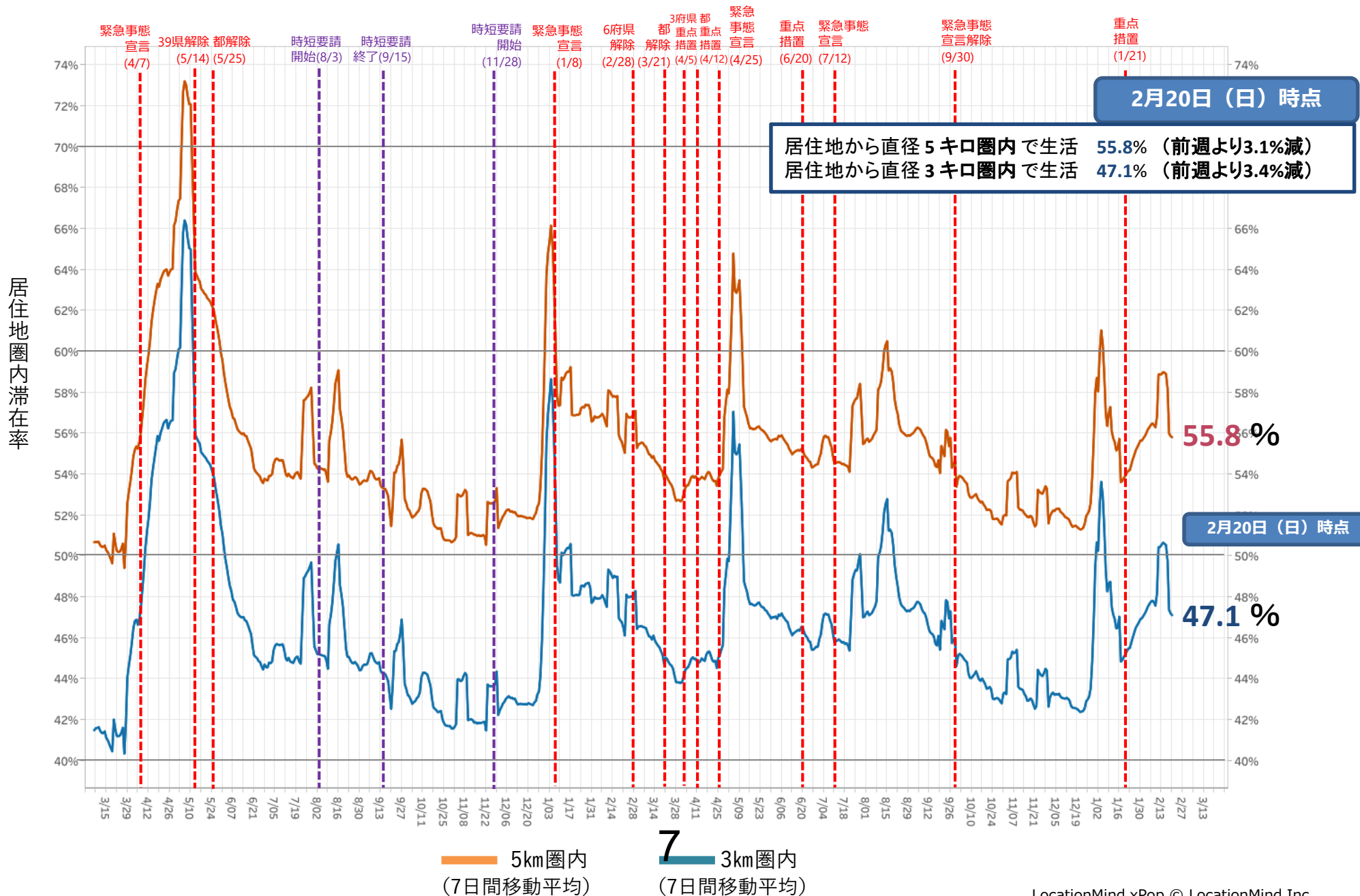
年齢別夜間滞留人口推移（22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年2月19日）

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街
夜間滞留
人口（人）

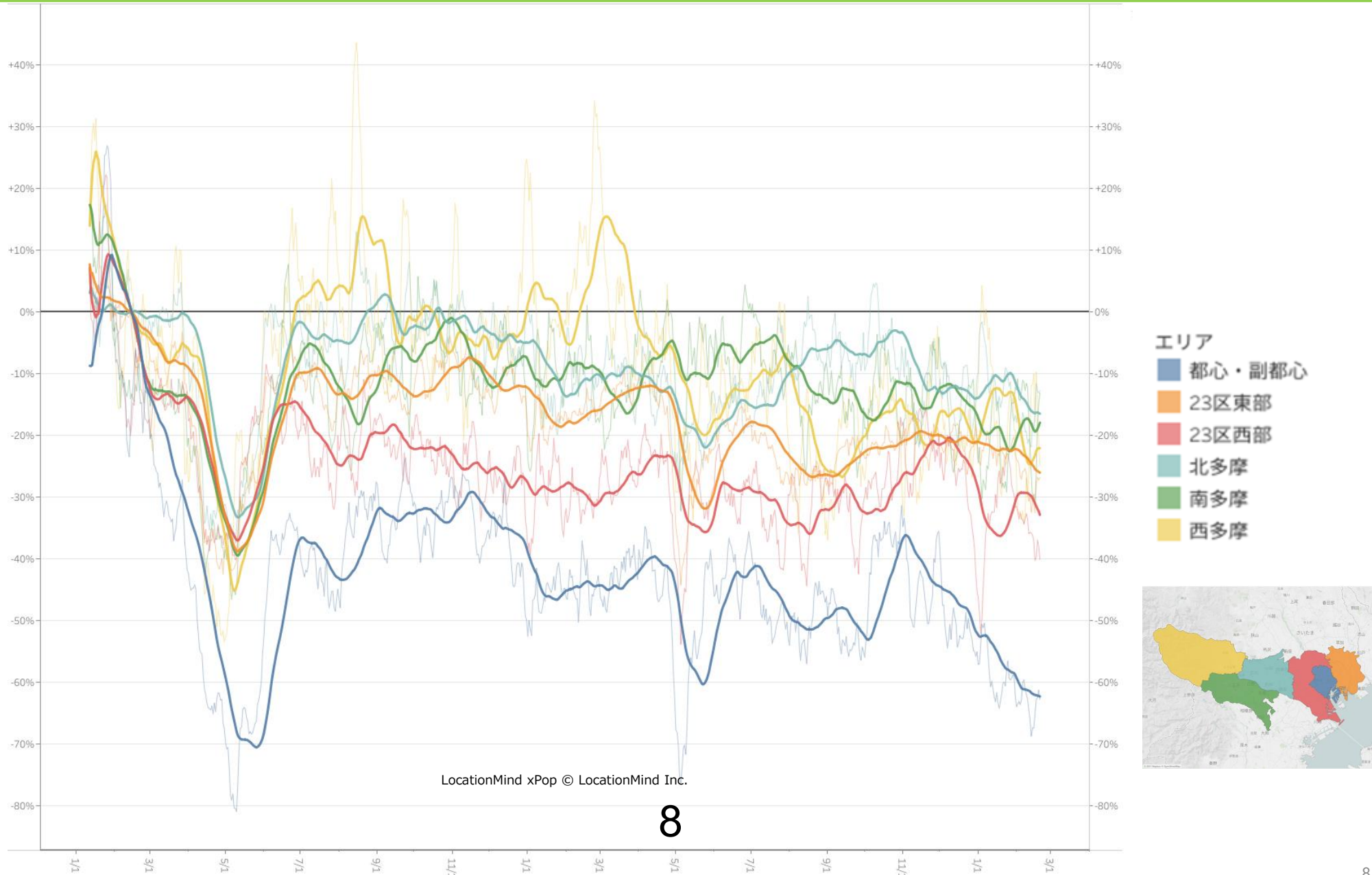


ステイホーム指標（2020年3月1日～2022年2月20日）：東京都内全域



都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2022.2.20：10-19時（モニタリング対象28施設）



ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

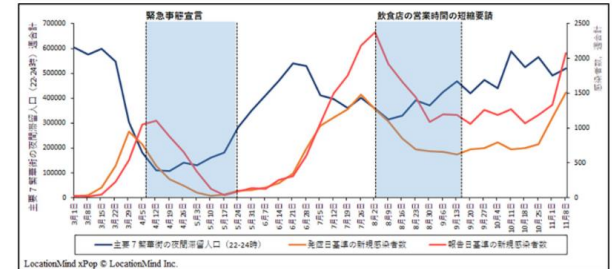
移動・滞留したデータを抽出 ※

- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研

- 夜間滞留人口データとその後の

新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021